

## 荒 船 山 山 行 記 録



目的地	荒船山	期 日	平成18年11月12日(日)
山人	笠原正雄・笠原澄子	特 記	越後は荒天、西上州の山へ向かう。

地 点 名	(着)～(発)	天候	記 事
内山峠 P 発	午前 9:10	晴	前夕自宅を発ち、佐久市内に宿をとる。朝、一度高速に乗り、碓氷軽井沢 IC から内山トンネルに向かい、長野県側から峠に上がる。10 数台有り。
先入者に追着く	9:50	〃	鍋を担いだ先行若者パーティーに追いつく。80 歳の高崎からの単独者を追越す。トモ岩や山頂方向が樹氷で白くなっている。緩登～トラバース道。
一 杯 水	10:10	〃	緩やかな下りで一杯水。トモ岩への登りが始まる。登路に霜が混じる。
トモ岩東屋	10:30～10:40	〃	登り終え、平坦路に出ると風が強くとどろきがある。樹氷も現れる。トモ岩先端は浅間方面が好展望だ。東屋と避難小屋が一体となっている。団体がいて賑やかだ。山頂へ向かって行った。風が寒く、雨具上衣を着る。
星尾峠分岐	11:00	〃	トモ岩後すぐに相沢からの道と合わせる。但しそちらはあまり歩かれていないようだ。水平路を進む。黒ずんでぬかるむ所が多い。日差しもあって、樹氷が消えた喬木帯となる。やや登って分岐は小台地、展望は殆んど無い。一団体を追越し、登りに掛かると再び樹氷の中に入る。
行 塚 山	11:10～11:15	〃	林の中の狭い頂。一団体が腰を降ろしていた。更にもう一団体が来て満員となる。写真を撮ってすぐに下山する。
林の中でランチ	11:35～12:20	〃	星尾峠分岐～トモ岩間の水平路の林の中に入り座る。大勢が往来し人が絶えることが無い。日差しもあり、風を受けなければそう寒くは無くなった。
雨具上衣を脱ぐ	1:10	〃	一杯水を過ぎてしばらくして暖くなる。落葉の梢間から行塚山の頂が見える。まだ、上山団体が登ってくる。
内山峠 P 着	1:50	〃	まだ沢山の車が残っていて、車道にも駐車車両が多くあった。今度は朝と反対の群馬側に下り、途中「峠の茶屋」で下仁田ネギを買う。R254 から下仁田を経て、上野村村営国民宿舎「やまびこ荘」に向かう。

計画は、御座～荒船の順だったが、本日の方が厳しい天気予報だったため、標高の低いこの山を先に登ることにした。それにしても人気の山だ。入山者がとても多い。トモ岩手前の僅かな登り以外はハイキング感覚で歩けるといったところだ。この一座のみで出かけるには交通費がかかり過ぎる。この山でもまた 80 歳の達者な単独者と出会った。

